

情 報 公 開 文 書

研究の名称	慢性心不全患者における交感神経活動を含めた予後予測因子の解明と背景因子や治療による修飾の検討
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者(所属氏名)	第二内科 助教 牛島 龍一
研究の概要	<p>【研究対象者】 2007年7月～2015年12月の期間、富山大学附属病院において交感神経活動の評価を行った慢性心不全を有し左室駆出率が45%未満である139名。</p> <p>【研究の目的・意義】 これまで我々は慢性心不全患者を対象に筋交感神経活動という特殊な方法を用いて治療効果などを評価してきた。今回、患者から得られたデータと臨床検査結果からなるデータベースを二次利用し、個々の臨床的背景や治療状況と予後を含めた臨床経過における交感神経活動の関わりに関して多方面からの解析により新しい臨床知見を得ることができるため大変意義がある。</p> <p>【研究の方法】 症例登録の手順 当院において実施した交感神経活動の評価結果と自覚・他覚所見、臨床検査、治療内容など診療において得られた検査データ、診療記録などからのカルテ情報と対比する（以下に記載）</p> <p>【研究期間】 2022年5月25日 ～ 2030年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 循環器系の国内外の学会（米国心臓病学会、欧州心臓病学会、日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心不全学会）に発表し、2022年以降に循環器雑誌への投稿を予定する。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	当院において実施した交感神経活動の評価結果、診療において得られた検査データ・診療記録などの診療情報が研究に用いられる。本研究を目的とした新たな試料、情報の取得はない。保存された試料は用いない。他機関への情報の提供はない。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	該当なし
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	第二内科 助教 牛島 龍一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7297 FAX 076-434-5026 E-mail naika2@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 第二内科 助教 牛島 龍一</p>